

第2項先進医療の新規届出技術について (届出状況／11月受付分)

先 - 1
22. 12. 9

整理番号	技術名	適応症等	保険給付されない費用 ^{※1※2} (「先進医療に係る費用」)	保険給付分 ^{※2} (「保険外併用療養費」)	受付日 ^{※3}
234	血管内皮反応検査を用いた虚血性心疾患の診断補助	胸痛があり、虚血性心疾患が疑われる患者	1万9千円 (1回)	62万5千円	H22.10.22
235	膀胱全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(膀胱がんに係るものに限る。)	前立腺癌	87万円 (1回)	155万2千円	H22.10.29
236	根治的子宮全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(子宮がんに係るものに限る。)	子宮癌	81万4千円 (1回)	51万6千円	H22.11.2

- ※1 医療機関は患者に自己負担を求めることができる。
- ※2 典型的な1症例に要する費用として申請医療機関が記載した額。
- ※3 原則として21日以降の受付の場合は翌月受付分として処理している。

【備考】

- 「第2項先進医療」は、薬事法上の未承認又は適応外使用である医薬品又は医療機器の使用を伴わず、未だ保険診療の対象に至らない先進的な医療技術。
- 「第3項先進医療(高度医療)」は、薬事法上の未承認又は適応外使用である医薬品又は医療機器の使用を伴い、薬事法による申請等に繋がる科学的評価可能なデータ収集の迅速化を図ることを目的とした、先進的な医療技術。